

質 問 書 兼 質 問 回 答 書

工事名：八潮市立新設小学校建設工事（建築工事・外構工事）

質問 番号	仕様書 (ページ)	図面 番号	質 問	回 答
1		A-118 A-119	(外部) PHF 陸屋根において、パラペット笠木の寸法が 仕上詳細図-5 では W=350、 外壁詳細図-1(階段 3)では W=600 と 相違しています。W=350 と考えて 宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
2		A-32	2Fカーポートテラスにおいて、手摺壁(テラス側)の仕上が 不明です。EW1 薄塗珪藻土+フッ素樹脂塗装と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
3		A-44	1Fカーポートテラスにおいて、床再生木ウッドデッキの 明確な範囲が不明です。X1-4/Y1-5 間までと 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	X1-2,Y3-4
4		A-50	光庭の外壁仕上が不明です。EW1 薄塗珪藻土+フッ素 樹脂塗装と考えると宜しいでしょうか。 御指示下さい。	よろしいです。

5		A-26	<p>外壁仕上において、明確な使い分け範囲が不明です。以下と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東面・西面 PHF 以外は全面 EW3 化粧打放補修+フッ素樹脂塗装 ・南面・・・1F 円柱のみ EW2 打放補修+外装厚塗材、 円柱以外は EW1 薄塗モルタル+フッ素樹脂塗装 ・北面・・・X1-10 間 EW1 薄塗モルタル+フッ素樹脂塗装 X10-20 EW3 化粧打放補修+フッ素樹脂塗装 	<p>EW3 は次のとおりです。</p> <p>1 階：X10・Y7-8、Y8・X10-16、X16・Y8-9、Y9・X16-20、X20・Y4-9、Y4・X18-20</p> <p>2 階：X10・Y7-8、Y8・X17-20、X20・Y4-9、Y4・X18-20</p> <p>3 階：X10・Y5-8、Y8・X10-20、X20・Y4-9、Y4・X18-20</p> <p>4 階：Y4・X11-18、X10・Y7-8 X12-13・Y4（光庭 2）</p> <p>EW2 は次のとおりです。 南面 1 F 円柱</p> <p>EW4 は次のとおりです。 北面体育館外壁・階段 3 外壁</p> <p>このほかは EW1 となります。</p>
6		A-42	<p>1F ワーキングテラスにおいて、1F スラブ 上裏の仕上が不明です。打放補修+外装薄塗材 E と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
7		A-104	<p>1F 天井伏図において、X5-8/Y7 間に凡例 C7a と記載がありますが、打放補修+EPG-W と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>水性フッ素樹脂塗料塗りラジカル制御型と読み替えてください。</p>

8		A-48	<p>1F 平面図 X8/Y6 玄関 1a 出入口部の床仕上が不明です。以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床・・・磁器質タイル t=9.5 300 角 ・立上り・・・EW1 薄塗モルタル+フッ素樹脂塗装 ・手摺・・・スチール 溶融亜鉛メッキ H=1150 <p>笠木:FB-9×50 支柱:FB-9×50 @600 手摺子:FB-9×50 @300</p>	よろしいです。
9		A-48	<p>1F 平面図 X9/Y8 玄関 1b 出入口部の床仕上が不明です。以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床・・・磁器質タイル t=9.5 300 角 ・立上り・・・EW1 薄塗モルタル+フッ素樹脂塗装 ・手摺・・・スチール 溶融亜鉛メッキ H=1150 <p>笠木:FB-9×50 支柱:FB-9×50 @600 手摺子:FB-9×50 @300</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁付手摺・・・ステンレス HLφ-42.7×3.5 <p>ブラケット PL-9 スチール手摺面取付</p>	よろしいです。スロープ部分は G-09 を参照ください。
10		A-48	<p>1F 平面図 X8/Y7 プラットホームは以下と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床・立上り・・・防塵塗装 	床タイル張り 300 角としてください。

			・鼻先・上裏・・・EC2 打放補修+外装薄塗材 E	
11		A-104	南面 Y1 通りのルーバー背面軒天部の仕上が不明です。EC3 化粧打放補修+フッ素樹脂塗装と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
12		A-104	南面 Y1 通りのルーバー上部 壁ボタ部の仕上は EC1 EW1 薄塗モルタル+フッ素樹脂塗装と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	塗膜防水としてください。
13		A-26 A-31	南面 Y1 通りのルーバーにおいて、立面図ではアルミルーバー、矩計図-1 では再生木ルーバーと相違しています。再生木ルーバーと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	立面図を正としてください。
14		A-35	4F プール周囲目隠しルーバー背面のパラペット立上りに おいて、仕上が不明です。 EW3 化粧打放補修+フッ素樹脂塗装と考えると 宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
15		A-35 A-145	4F プールのベンチ背もたれ、タオル掛けにおいて、 Y4 通り側には不要と考えると宜しいでしょうか。 御指示下さい。	Y4 側、X13-14、X14-15、X16-17、X17-18 に設置してください。
16		A-17	以下のメーカー、品番を御指示下さい。 ・屋上アスファルト防水 ・屋上目隠しルーバー 1 ・アルミ縦樋 ・バルコニー ビニール床シート	特記仕様書をご確認ください。また特記仕様書や図面に記載のないものについては公共工事標準仕様書に準じた製品としており特にメーカー・品番は指定していません。(他同様)

			<ul style="list-style-type: none"> ・プール 目隠しルーバー ・外壁 EW1.3 フッ素樹脂塗装 ・外壁 EW2 外装薄塗材 E ・外壁・庇 再生木ルーバー ・玄関前 磁器質タイル t=9.5 300 角 	
17		A-18 A-114	1F 教室 a～c の流し台周りの巾木が仕上表では H=100 となっていますが仕上詳細図では H=150 とあります。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
18		A-18 A-78	1F OS-1 の流し台前の壁仕上が展開図では W2a,W2b と記載されていますが仕上表には記載がありません。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
19		A-44	1F OS1 の開口三方枠の仕上げが不明です。仕上げの記載がない箇所はクリアッカー塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	三方枠は WP 塗としてください。
20		A-73 A-106 A-115	1F 保健室のベッルームと倉庫 1c の間仕切壁が展開図では WF1a(耐火間仕切)となっていますがキープランでは耐火間仕切ではありません。W1a と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

21		A-19	玄関 1b の仕上が仕上表に記載ありません。矩計図-5 に記載されて仕上を正として宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-21 図に記載していますのでご確認ください。
22		A104	1Fアリーナの更衣室 1a - 1b 間の天井が、天井伏図では C1b(GB-Dt9.5)になっておりますが、ギャリースラブ下で、C7(RC 打放+EPG-W)と考えて宜しいでしょうか。天井伏図が正の場合は、天井高とギャリースラブ下の下り天井の仕上を御指示下さい。	よろしいです。
23		A-49	1Fアリーナの出入口(SD-4 前)の踏込みの仕上はアリーナと同じと考えて宜しいでしょうか。玄関 1b とアリーナの床レベルは同じで段差は無い為、沓拭きマットの様なものが入るのでしょうか。詳細を御指示下さい。	よろしいです。
24		A-103	1Fアリーナの C 面展開図にルーバー状の記載がありますが、小幅板張の上にルーバーが付くのでしょうか。詳細を御指示下さい。	他の壁仕上同様 W7 です。ルーバーはつきません。
25		A-116 内訳書 P132	仕上詳細図-3 の W7 縁甲板小幅板張の端部見切材 75×25 が参考内訳書に 18.5mありますが、アリーナのどの部分に付くのでしょうか。取付位置を御指示下さい。	WD-1,2 との取り合い部となります。
26		A-49 内訳書 P148	1Fアリーナの防護パッドが、平面詳細図では柱型用コの字型が 14 か所のみですが、参考内訳書には L 型も 6 か所あります。柱型用コの字型 14 か所のみと	参考内訳のとおりとしてください。高さはお見込みのとおりです。

			考えて宜しいでしょうか。また防護パッドの高さは1mと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
27		A-19	玄関 1b の仕上が仕上表に記載ありません。玄関 1a・1c を 1b・1c に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-21 図に記載していますのでご確認ください。
28		A-19 A-115	2F 教室 a～h の壁 W3a の下地が、仕上表では木とありますが、仕上詳細図では LGS 下地です。仕上詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	W3a は仕上表・仕上詳細図共に LGS 下地です。なお、W3c は木下地です。
29		A-19 A-84	2F 教室 b の C 面の仕上が展開図で W1d ですが、W1d は仕上詳細図では外壁に面しないコンクリート壁になっております。教室 a と同様に W3c と考えてよろしいでしょうか。また、D 面も W1d になっておりますが、コンクリート壁ではないため、WF3a と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
30		A-19 A-84 A-115	仕上表で 2F 教室 a～h・SS2a～d の壁に W3d とありますが、仕上詳細図では消してあります。W3d は抹消しないと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	教室と ss の間仕切り壁の内、室内同士は断熱材不要とし W3d となります。室内外となる部分は断熱材ありとなり W3c となります。
31		A-19 A-116	2F SS2a～d の壁の仕上の W10d は、仕上表では LGS 下地となっておりますが、仕上詳細図では木下地です。仕上詳細図の木下地を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

			御指示下さい。	
32	A-19 A-104 A-115	2F SS2a～d の天井が仕上表では C1a+C12(竿縁天井-1)ですが、仕上詳細図では天井の仕上が C1a の場合、竿縁天井-2 となっております。天井伏図から判断して、C1a+C12(竿縁天井-1)と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	よろしいです。	
33	A-32 A-84 A-122	2F SS のカーテンボックスが、矩形図では Y2 通りにもありますが、天井伏図、展開図では外壁面のみとなっております。カーテン・ブラインドリストの数量から判断すると、Y2 通り・外壁面共カーテンボックスが付くと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。	
34	A-106・ 108	以下の建具について、建具表とキープランでは符号が相違しています。 建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表:AW16' キープラン:AW16 建具表:AW17' キープラン:AW17	よろしいです。	
35	A-106・ 111	LSD15 はキープランに符号がありません。 1F 保健室の LSD6 を LSD15 に読み替えて宜しいでしょうか。 正確な設置場所を御指示下さい。	キープランを正とし、LSD-6 に読み替えてください。	
36	A-106	SLW1～6,PT1 は建具表に記載がありません。 キープランの数量を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。	

37		A-112	SDd はキープランに記載がありません。 設置場所を御指示下さい。	屋上のハト小屋です。A-146 図をご確認ください。
38		A-26・ 108	AW7 について、非常用進入口代替窓は 3F 配膳 3・ 4F 配膳 4 の 2 か所のみと考えて宜しいでしょう か。	3F 2 か所 (配膳室 3・階段 1) 4F 3 か所 (WC4e・配膳室 4・階段 1)
39		A-108・ 109	飛散防止フィルム(乳白色)について、メーカー品番があれ ば御指示下さい。	特にメーカー・品番の指定はありません。
40		A-109・ 126	ACW1 について、建具表と建具詳細図ではガラスの 表記が相違しています。建具表に記載のガラスを正 と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
41		A-110	衝突防止マークの仕様が不明です。ステンスφ30 両面 貼程度と考えて宜しいでしょうか。	A-193 図に記載していますのでご確認ください。
42		A-112	SW について、枠仕上が不明です。焼付塗装を見 込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。
43		A-113	以下の建具について、扉仕上:焼付塗装 備考欄:スラ ット SOP 塗装と仕上が相違しています。枠・スラット共に SOP 塗装と考えて宜しいでしょうか。 FSD14,SS1,SS2	扉仕上:焼付塗装を正としてください。
44		S-01	使用建築材料表ーコンクリートにて、セメントの種類で「普 通」「中庸熱」「低熱」と 3 種類が適用となってい ますが、使い分けが不明です。 御指示下さい。	原則「普通」としてください。「中庸熱」「低熱」は、施 工性や施工環境(時期)により採用可能とするために適 用としています。
45		S-70	壁スラットの振れ止め筋について、防錆塗装品と考え	よろしいです。

			て宜しいでしょうか。	
46		S-73.85	柱突出納まりでない場合の柱頭補強筋について、下記のように相違しています。S-85 図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・S-73 図 → D10 @200 タテヨコ ・S-85 図 → 主筋と同径・同じピッチ	柱頭の主筋定着長により使い分けます。 ・定着長さ確保できる場合 : S-73 図による補強。 ・定着長さ確保できない場合 : S-85 図による補強。
47		S-77	RC 棚受配筋要領図とありますが、該当する範囲が見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。また、必要な場合は、範囲を併せて御指示下さい。	よろしいです。
48		S-57～59	基礎梁・基礎小梁リストの共通事項 4 にて、「RC 柱定着部には定着板を見込む」とありますが、鉄筋径 D32 以上に適用するものと考えて宜しいでしょうか。	RC 柱に定着する地中梁主筋を対象とします。
49		S-77	EV 片持床配筋要領図にて、「意匠図による」とありますが、該当する範囲が見当たりません。不要と考えて宜しいでしょうか。また、必要な場合は、範囲を併せて御指示下さい。	よろしいです。
50		S-78. A-146	ハ小屋の配筋要領について、意匠図と構造図で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
51		S-83. A-170	体育器具補強材「イ」について、RC 躯体取合部の納まりが不明です。アンカーボルトの仕様及びベースプレート	PL-12 240×120 2-M20

			トの大きさを御指示下さい。	
52	S-79. A-179	雑詳細図(3)にプール本体基礎配筋要領図とありますが、A-179 図より、押えコンクリートによる立上りと考えて宜しいでしょうか。	S-79 図を正としてください。	
53	S-115. G-19	ごみ置場の設計 GL について、下記のように相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・ G-19 図 → TP+1.80 ・ S-115 図 → TP+1.92	A-12 図より、設計 GL は TP+1.70 となります。	
54	設計書 P237 G-08	設計書 P237 擁壁 3 について、外構断面詳細図における擁壁 3 の全高は H1600 設計書摘要欄は H2300 と相違しています。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
55	G-11	メッシュフェンスの支柱基礎について、H1200 は PC 基礎 H1800 は G-11 図記載の W250×D250×H450@2000 の現場打ち基礎と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。	
56	G-11	上記質疑が正の場合、基礎内の配筋要領を御指示下さい。	タテヨコ D10@200 四周 D13 としてください。	
57	G-08	コンクリート舗装について、表面仕上は金鍍仕上程度を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。	
58	G-04	駐車区画の「軽」表示もトラフィックペイント 溶融式を見込んで宜しいでしょうか。	よろしいです。	

59		G-08	コンクリート舗装部の側溝について、仕上がが不明です。 底コンクリート金鏝 立上 打放補修程度と考えて宜しい でしょうか。	よろしいです。
60		G-11	雨水柵蓋について、スチール溶融亜鉛メッキと考えて宜し いでしょうか。	よろしいです。
61		A-07	特記仕様書 エット工事 33.表示標識について、消防 水利標識及び階段手摺端部の点字表示の仕様詳細 を御指示下さい。	消防水利標識：G-04 をご確認ください。 階段手摺端部の点字表示：ポリカーボネート 0.2 t シ ルクスクリーン印刷
62		A-07	上記質疑に関しまして、階段手摺端部の点字表示 の設置場所はグラウンド階段部の 4 か所と考えて宜し いでしょうか。	よろしいです。
63		設計書 P246	消火栓・補助散水栓等表示が 1 か所計上されてお りますが、設置場所及び仕様が不明です。詳細を御 指示下さい。	敷地北側駐車場 3 プール水取水口となります。
64		G-12 設計書 P249	新設浸透柵の数量について、設計書では 19 か所 グラウンド詳細図では 20 か所見受けられます。南西 端の柵は既設柵でしょうか。	図面を正としてください。 既設柵利用はありません。
65		G-16	国旗掲揚ポールについて、詳細図では H8000 と H10000 が併記されておりますが H10000 1 本 H8000 2 本の解釈で宜しいでしょうか。	よろしいです。
66		G-09	駐輪場上屋基礎について、配筋要領を御指示下 さい。	上下 D-10@200 径
67		A-12	現況図に記載が有りませんが、敷地内に撤去が必 ず	敷地周囲に簡易な木柵を設置していますので、工事に合

			要な建物や舗装・塀・工作物・樹木等は無いのものと考えて宜しいでしょうか。もし撤去が必要なものがあれば図面等でご指示下さい。	わせて撤去してください。
68		A-12	確認ですが、工事開始時は現況図に記載のように、敷地全体は現況 GL=T.P.1.65 で整地されているものと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	おおよそ整地されています。
69			工事費内訳明細書 P3 で、校舎建築工事・体育館建築工事・プール建築工事に明細が分かれています。それぞれの区分が不明瞭です。区分が分かる図面をいただきたいのですが。	参-4、参-5 室面積求積図にある「校舎」「体育館」「プール」で平面的に区分しています。Y4 通り等の「校舎」と「体育館」で共有している躯体は「体育館」としてください。
70			図面に記載されているメーカー、品番は同等品でも良い物と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
71			確認ですが、建具・サイン等のモックアップの作成は、無い物と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
72			仮設計画図記載の仮設については、指定仮設扱いでは無い物と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
73			安全祈願祭等の有無と規模（発注者・設計者のおおよその参加人数）をご指示ください。	契約後に受注者と協議します。
74		A-10	確認ですが、ELV は建築工事に含む物と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。

75	A-05 A-117	天井でガラス繊維・パルプ混抄シートの商品名が野原産業 カーボン同等品とありますが、メーカーに確認したところ、廃盤になり引等も出来ないそうです。別のメーカー、品番等をご指示ください。	特にメーカー・品番の指定はありません。
76	A-118 A-119 他	ITハガーの@が仕上詳細図と外壁詳細図で違います。仕上詳細図の縦@500を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
77		ITハガーの横の@が不明です。@600程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	よろしいです。
78	A-17	音響調整板の参考材料に九州アコン：ACパネルとありますが、九州アコンは倒産したようです。別のメーカー、品番をご指示ください。	特にメーカー・品番の指定はありません。
79	A-45	1階平面詳細図の柱にカラーモルタル マーブル系とありますが、詳細が不明です。CLモルタル総合材マーブル程度と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。(違う場合は、メーカー、品番をご指示下さい)	よろしいです。
80	A-31 S-38.82	矩計図-1でルーバー受けにH鋼の記載がありますが、構造図には記載がありません。構造図を正と考え、RC梁にルーバー受材のC型鋼を付けるものと考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	矩計図を正として下記をコンクリート面との取り合いについて、下記を見込んでください。 BPL-25×250×350 (SS400) A.Bolt.4-M24 (SS400) (L=40d) リブ PL-9×75×100 (SS400)
81	A-31	上記質疑で構造図が正の場合、意匠図では梁型に	矩計図を正としてください。

		S-82	合わせて斜めになっていますが、構造図では水平になっています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。	
82		A-31	2階～4階の各階の片持ちスラブに再生木ルーバーがついていますが、取付下地の仕様・部材寸法等の詳細が不明です。ご指示下さい。	胴縁：アルミフラットチャンネル@1200
83		A-47	1階平面詳細図のガードレールでルーバーの下地が、柱：St-75x75x3本とありますが3本以上あります。柱と取付アングルの@をご指示下さい。	@900としてください。
84		S-36 S-77 ～85	基礎伏図地中梁に設置の人通孔の梁貫通補強には認定工法とありますが、孔径によっては一部在来にて補強を要する部分が発生すると思われます。補強要領を御指示下さい。	梁貫通孔補強が必要な箇所には、全て認定工法の梁貫通補強を見込んでください。
85		S-36 A-146 S-77 ～85	基礎伏図地中梁・大梁に設置の設備開口(スリーブ)の梁貫通補強には認定工法とありますが(大梁には記載なし)、孔径によっては一部在来にて補強を要する部分が発生すると思われます。補強要領と算出する梁符号(肋筋にてD13とS13有りの為)を御指示下さい。	梁貫通孔補強が必要な箇所には、全て認定工法の梁貫通補強を見込んでください。
86		S-73	定着板の施工範囲は架構配筋詳細図通り、地中梁のみ(RC柱定着部)とし、柱頭部および大梁端部において見積上定着板はなしと考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 ただし施工上必要と思われる箇所には定着板を見込んでください。

87	S-20A S-73	地中梁下端筋のアンカー長さについて、柱面より 12D 程度と考えると宜しいでしょうか。	側柱に定着する地中梁下端筋の長さは、「柱せい (De) 以上かつ 12D 以上」としてください。
88	S-47	RC 柱 Fe 切替区分図について、該当範囲は 1F 柱足元とそれに付随する柱面より 300mm の地中梁天端と考えると宜しいでしょうか。 付随する床版が範囲の場合、当該スラブ 下端が地中梁より下になる範囲の切替区分にて図示願います。	よろしいです。 (平面上、柱と地中梁上部のみとし、スラブは対象外とさせていただきます。)
89	S-70	スリット補強筋について、防錆塗装品+亜鉛メッキ程度と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
90	S-01 A-03	防水押さえ、嵩上げコンクリートのスランプ 値は捨コンクリートと同様に 15cm と考えると宜しいでしょうか。	よろしいです。
91	A-39	階段詳細図-3(断面詳細図)PHFLデッキスラブ外周について、X10 通り鉄骨フランジ面より 150mm 程度跳ね出しております。 スチールプレート 1.6mm 程度と考えると宜しいでしょうか。	PL-3.2 を見込んでください。
92	A-03 S-01 S-72	鉄骨柱礎柱 SC1 の立上り筋について、鉄筋規格が D25 の SD390 となっております。 SC1 の D25 立上り筋のみ SD390 とし、その他の D25 は SD345 と考えると宜しいでしょうか。	鉄筋径 D25 : SD345 が正となります。
93	A-31	2FL 再生木ルバー下地鉄骨 H-150X150X7X10 について、RC 面と取合いますが、BPL・アンカーボルト詳細を御指示下さい。	BPL-25×250×350 (SS400) A.Bolt.4-M24 (SS400) (L=40d) リブ PL-9×75×100 (SS400)

				としてください。
94		A-40	4階屋外小階段について、階段部材詳細図を御指示下さい。	下記を見込んでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 溶融亜鉛メッキ処理。 ・ ササラ桁 PL-16 x 250 (SS400) ・ HTB 2-M16(F8T) ・ BPL-16x300x150 (SS400) ABOLT2-M16 (SS400) (L=25d 定着金物)
95		A-55 S-78	2階設備置場鉄骨について、HB148がY8通りRC面と取合いますが、BPL・アンカーボルト詳細を御指示下さい。	BPL-16-200x200 (SS400) ABOLT2-M16 (SS400) (L=25d 定着金物)を見込んでください。
96		A-126	カーテンウォール鉄骨先付ファスターについて、部材を下記のように考えて宜しいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・A-A断面:L-90X90X9 ・B-B断面:PL-12 	よろしいです。
97		S-42	Y5+3550通り Y7通り SB25について、RC面と取合いますが、BPL・アンカーボルト詳細を御指示下さい。	BPL-19-200x250 (SS400) ABOLT2x2-M20(L=25d 定着金物) を見込んでください。
98		S-46 S-80	開口補強縦材について、脚部がRC面と取合いますが、BPL・アンカーボルト詳細を御指示下さい。	RCにプレート埋込み、GPL-9中ボルト 2-M16にて接合します。
99	P.16	-	参考数量書 P16 ぶどう棚鉄骨(階段・壁下地共)について、壁下地の計上範囲が図面上から判断出来ない為計上範囲及び部材を御指示下さい。	X18通り体育館ステージの壁下地になります。

100		A-05	特記仕様書-4、複層塗材 E に●印が付いていますが、範囲が不明です。 該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
101		A-17	外部仕上表、鼻先の仕上について、複層塗材 E とありますが、参考数量書にもないことから、水性フッ素樹脂塗料塗りレジカ制御型と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
102		A-17 A-119	外壁長尺金属板葺き、フッ素ガルバリウム鋼板の厚みについて、下記の通り相違しています。 ・外部仕上表:t0.45 ・外壁詳細図-1:t0.4 t0.45 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	0.4 を正としてください。
103		A-26	立面図、壁凡例 EW3 の範囲について、明確には不明です。平面範囲図等を御指示下さい。	次のとおりです。 1 階 : X10・Y7-8、Y8・X10-16、X16・Y8-9、Y9・X16-20、X20・Y4-9、Y4・X18-20 2 階 : X10・Y7-8、Y8・X17-20、X20・Y4-9、Y4・X18-20 3 階 : X10・Y5-8、Y8・X10-20、X20・Y4-9、Y4・X18-20 4 階 : Y4・X11-18、X10・Y7-8 X12-13・Y4 (光庭 2)

104		A-26	ライトシェルフについて、サッシ AW-1 部に W1200 が 4 か所取り付くと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
105		A-26 A-31	外壁目隠しルーバーについて、下記の通り相違しています。 ・南立面図:アルミルーバー ・矩計図-1:再生木ルーバー 再生木ルーバーを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	立面図を正としてください。
106		A-26 A-31	1F 庇ルーバーについて、下記の通り相違しています。 ・南立面図:アルミルーバー ・矩計図-1:再生木ルーバー 再生木ルーバーを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	立面図を正としてください。
107		A-35	矩計図-5、プールピット内のアスファルト防水仕様が A-2 とありますが、E-1 と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。(A-118 仕上詳細図-5 R4 参照)
108		A-26 A-45	1F 丸柱の仕上について、下記の通り相違しています。 ・立面図:外装厚塗材 ・1F 平面詳細図-2:カラーモルタル マーブル系 外装厚塗材を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

109		A-48	玄関 1a の外部側アプローチ+階段について、仕上が不明です。床タイル張り 300 角と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。(G-08 外構断面詳細図-1 参照)
110		A-48 A-49	玄関 1b の外部側アプローチ+階段+スロープについて、仕上が不明です。床タイル張り 300 角、スロープは床タイル張りハズレ 300 角と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。(G-08 外構断面詳細図-1、G-09 外構断面詳細図-2 参照)
111		A-48	1F、X8/Y7 通りのプラットフォーム+階段について、仕上が不明です。床タイル張り 300 角と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
112		A-54	2F 平面詳細図-5、Y6-7 通りの X5 通りと X8 通りのルフトレインについて、排水経路が不明です。御指示下さい。	X7・Y6 にある縦樋にバルコニー下で接続してください。
113		A-57	3F 平面詳細図-2。X8 通り/Y3-4 通り間の手摺-E2 の高さについて、H1000 タイプと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	H1100 タイプとしてください。
114		A-65	4F 屋上、X3 通り/Y6 通り付近の W900 の門扉について、仕様・寸法・詳細が不明です。御指示下さい。	スチール製溶融亜鉛メッキの上リン酸処理 枠 FB-6*50 縦格子 FB-9*44@100 W900×H1250 鍵付き としてください。
115		A-67	4F 平面詳細図-6、Y6 通りの L1200 のベンチ部に、L1100 の背もたれを見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	背もたれは Y8 通り側のみのため見込む必要はありません。
116		A-67	4F 平面詳細図-6、Y4 通り/X18 通りの門扉寸法に	W850×H1793 をお願いします。

			ついて、W850×H1200 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
117		A-104	1・2F 天井伏図、外部軒天部に「C7a 直天」とありますが、仕上が不明です。 水性フッ素樹脂塗料塗りレジカ制御型と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
118		A-104	1F 天井伏図、Y8 通り/X10-15 通り、庇裏の仕上が不明です。 水性フッ素樹脂クリア塗料塗り(見上げ)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
119		A-118 A-119	ALC 外壁のダブルラパットの笠木寸法について、下記の通り相違しています。 ・外壁詳細図-5:W350 ・外壁詳細図-1(階段 3):W600 参考数量書のとおり、W350 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
120		A-118	再生木デッキの寸法と根太ピッチについて、下記の通り相違しています。 ・仕上詳細図-5:25×145 根太@450 ・参考数量書:28×160 根太@500 28×160 根太@500 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
121		A-118	仕上詳細図-5、R7 ウルタン塗膜防水詳細図の塗膜防	図面通りとしてください。R7 はハト小屋屋根、機械基

			水下がモルタル金鰻とありますが、コンクリート金鰻と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	礎天端、庇天端、梁天端などの左官補修を見込んでいます。
122		A-137	部分詳細図(手摺-2)、手摺-E1 詳細図に、ノズリップビニール床シート立上げとありますが、範囲が不明です。 3・4F バルコニー範囲と考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、範囲を御指示下さい。	2階 X5~8、Y6~7 のバルコニーの床仕上げとなります。
123		A-137	手摺-E4 の支柱ピッチについて、下記の通り相違しています。 ・部分詳細図(手摺-2):@1000 ・参考数量書:@2000 @2000 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	@2000 を正としてください。
124		A-137 A-69	屋上メッシュフェンス扉の寸法について、参考数量書の W900×H1200 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
125		A-145	部分詳細図(ポール目隠し・日よけ)、庇アルミルーバーについて、参考数量書のボルト固定式・ストリンガー共と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面通りとしてください。
126		A-145	ポールカサ掛けの範囲(箇所数)が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・L=3060 ×4 か所 ・L=3800 ×4 か所	お見込みのとおりです。

			<p>・L=1200 ×6 か所</p> <p>又、違う場合、プール外掛けの範囲(箇所数)を御指示下さい。</p>	
127		A-145	<p>プール背もたれの仕上について、BB-2種と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
128		A-145	<p>スチールラックの扉寸法について、W800×H1353 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
129		A-145	<p>プールベンチのカラーメタル塗の厚さについて、t10 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
130		A-179	<p>参考数量書、プールのユニット及びその他工事-外部、プールピット内排水管 VP 管 100φ6.5m の範囲が不明ですが、6.5m 見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p> <p>こちらはプール周囲の排水溝 200W からプールピットを経由し縦樋へとつなぐ配管になります。(A-23 図 3 階平面図 Y7 通り X10~11 間と X19 通り Y4~5 間の 2 か所)</p>
131		A-179	<p>プール本体取合シーリングについて、変成シリコン系 20×10 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
132		A-181	<p>プール本体下ポリスチレンフォーム板敷きについて、下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・B 類 2 種 厚 290~500</p> <p>又、違う場合、仕様・厚さを御指示下さい。</p>	参考数量書 P.186 のとおりです。
133	P.61	-	<p>参考数量書、校舎-金属工事-外部、ビニル床材立</p>	2 階 X5~8、Y6 のバルコニーの外壁部分です。

			<p>上げ見切縁 アルミアンゲル L-19×19×1 17.3m について、範囲が不明です。該当なしと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、必要の場合、範囲を御指示下さい。</p>	
134	P.62 P.63	-	<p>参考数量書、校舎－金属工事－外部、1階職員玄関・開放玄関階段手摺から1階開放玄関壁付手摺の6項目について、範囲が不明です。該当なしと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、必要の場合、範囲を御指示下さい。</p> <p>1) 1階職員玄関・開放玄関階段手摺 2.9m 2) 1階職員玄関・開放玄関階段手摺 2.1m 3) 1階開放玄関スロープ手摺 3.1m 4) 1階開放玄関スロープ手摺 10.5m 5) 1階開放玄関壁付手摺 20.9m 6) 1階開放玄関壁付手摺 27.0m</p>	<p>職員玄関は玄関 1a、開放玄関は玄関 1b を指します。玄関 1a,1b を出たところにある階段・スロープのための手摺となります。</p> <p>G-08、G-09 図参照してください。</p>
135	P.88	-	<p>参考数量書、校舎－内外装工事－外部、下記2項目について、範囲が不明です。3・4Fバルコニーと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、必要の場合、範囲を御指示下さい。</p> <p>1) 床ビニル床シート 33.1m²</p>	<p>2階 X5～8、Y6～7 のバルコニーの床仕上げとなります。</p>

			2) ビニル床シート立上げ 19.1m	
136	P.93	A-188	屋上へリサインの仕様・詳細が不明です。 参考数量書、校舎ーエント及びその他工事ー外部の屋上へリサインに倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
137		A-17	仕上グレードリスト、下記項目について、該当範囲が不明です。御指示下さい。 ・ノンスリップビニル床シート(田島ルフィン ^g :ビュージスタ PLUS)	2階 X5~8、Y6~7 のバルコニーの床仕上げとなります。
138	P.52	-	参考数量書、校舎ー防水工事ー外部、梁型天端塗膜防水 53.6m ² について、明確な範囲が不明です。御指示下さい。	次のとおりです。 光庭 1a・光庭 1b・光庭 2 まわりの梁型天端 2階 Y1 通りの梁型天端
139	P.52	-	参考数量書、校舎ー防水工事ー外部、防水押え金物アルミ製 塗膜防水天端端末用水切タイプ L-65×40 299m について、明確な範囲が不明です。御指示下さい。	次のとおりです。 光庭 1a・光庭 1b・光庭 2 の梁型 2~4 階の Y1 通りの梁型
140	P.61	-	参考数量書、校舎ー金属工事ー外部、アルミ水切 BB-1 種 L-30×120×1.5 1932m について、明確な範囲が不明です。御指示下さい。	次のとおりです。 R 階屋根、4 階屋根 (X2-9・Y4-7)、光庭 1b、2 階屋根 (X3-14・Y1-2)、3 階屋根 (X9-10・Y5-7)、2 階屋根 (X16-20・Y8-9)
141	P.63	A-40	参考数量書、校舎ー金属工事ー外部、階段 E1 壁付手摺 半硬質樹脂製 34φ(屋外用) 28.3m について、数量が少ないのではと思われます。図面計測を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

142	P.86	-	参考数量書、校舎－塗装工事－外部、E P－G塗りコンクリート面 工程 B種(一般) 63.4m ² について、範囲が不明です。御指示下さい。	2階バルコニー (X5-8・Y6-7) の壁及び上裏です。
143	P.86	-	参考数量書、校舎－塗装工事－外部、E P－G塗りコンクリート面 工程 B種(見上) 29.4m ² について、範囲が不明です。御指示下さい。	1階ピロティ (昇降口) です。
144	P.138	-	参考数量書、体育館－左官工事－外部、側溝防水モルタル塗り金ごて モルタル仕上 厚 25 W=300(底ノみ) 5.7m ² について、範囲が不明です。御指示下さい。	2階屋根 (X16-20・Y8-9) です。
145		-	下記項目について、メーカー・品番を御指示下さい。 1)外壁 ALCパネ 2) アスファルト防水 AI-2 3) アスファルト防水 A-2 4) 改質アスファルトシート防水 ASI-T1(トーチ工法) 5) 塗膜防水 X-1・X-2 6) 防水立上り乾式保護板 押出成形セメント板 t15 7) 床タイル張り磁器質 300角 t9.5 8) 床タイル張り磁器質 300角 t9.5 ノンスリップ 9) 外壁長尺金属板葺きフッ素がルハリウム鋼板 t0.45 10) ルーフドレン 11) オーバーフロー管 12) アルミ丸どい バンドレスタイプ 13) アルミ笠木 既製品	特記仕様書をご確認ください。また特記仕様書や図面に記載のないものについては公共工事標準仕様書に準じた製品としており特にメーカー・品番は指定していません。(他同様)

		<p>14) 階段滑り止め ステンレス製</p> <p>15) 丸環 ステンレス製</p> <p>16) 屋上設備目隠しルーバーアルミ製 ポリエステル樹脂塗装</p> <p>17) 外装厚塗材 E</p> <p>18) 水性フッ素樹脂塗料塗りラジカル制御型</p> <p>19) 防塵塗装 薄膜アクリル樹脂系</p> <p>20) 床ビニル床シート 屋外対応防滑性 厚 2.5</p> <p>21) テッキフロアシステム再生木材(1階カーポートテラス)</p> <p>22) 樹脂製マット敷き t13(1階ワーキングテラス他)</p> <p>23) 点字ブロック 塩化ビニル製</p> <p>24) クッションストッパー合成ゴム製 D型バンパー</p> <p>25) 壁再生木ルーバー 25×75 @50 縦張り</p> <p>26) 外壁再生木ルーバー 100×45 @105 横張り</p> <p>27) 庇再生木ルーバー 120×60 @170</p> <p>28) ライトシェルフ(南側外壁)</p> <p>29) 屋上メッシュフェンス スチール製 樹脂塗装品</p> <p>30) 救助袋 垂直式</p> <p>31) 水性フッ素樹脂クリア塗料塗り</p> <p>32) 押出成形セメント板(ECP)t60</p> <p>33) アスファルト防水 E-1(屋内密着)</p> <p>34) ケイ酸質系塗布防水</p> <p>35) 樹脂製グレーチング溝ふたプール用(SUS 枠共)</p> <p>36) プール日除けアルミルーバー 格子タイプ BB-2種</p>	
--	--	--	--

			<p>37) プール目隠し壁外壁有孔折板張り t1.6 250×68</p> <p>38) 外装薄塗材 E 砂壁状 吹付け</p> <p>39) 床ビニル床シート プールサイド用防滑性 t2.9</p> <p>40) プール本体</p> <p>41) プールサイドプールシャワー</p> <p>42) 地流しグレーチング ステンレス製 600×450×t18</p> <p>43) 天井廻縁 アルミ製</p> <p>44) 天井 化粧けい酸カルシウム板張り t6.0</p>	
146		A-18	<p>1F 教室 1a~1c の巾木仕上磁器質タイルの範囲について、防滑性ビニル床シートの範囲と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>教室 1a~1c の巾木はすべて B2 木製としてください。</p>
147		A-18	<p>1F 校務室の床・巾木磁器質タイルの範囲について、範囲が不明の為、該当無しと考えると宜しいでしょうか。</p> <p>又、必要な場合、図示にて該当範囲を御指示下さい。</p>	<p>X8~9 通り、Y1 通りの校庭への出入口まわりとなります。</p>
148		A-47	<p>1F 消火ポンプ室の機械基礎仕上について、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天端:防塵塗床(F9)/コンクリート金鋺 ・立上り:防塵塗床(F9)/コンクリート打放補修 	<p>よろしいです。</p>
149		A-60	<p>3F プール機械室の機械基礎仕上について、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天端:塗膜防水(F10)/コンクリート金鋺 ・立上り:塗膜防水(F10)/コンクリート打放補修 	<p>よろしいです。</p>

150		A-115	W1b 等界壁 GW 充填の間仕切面石膏ボードの高さについて、天井までと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
151		A-115	W1d 等外壁に面しないコンクリート壁面の LGS 高さについて、天井までと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
152		A-77 A-135	1F 配膳室壁ボードの高さについて、下記のように相違しています。 ・展開図-5(1階-5):H200 ・部分詳細図(壁保護材):H150 H150 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
153		A-37 A-39	階段詳細図-1・3 階段-1・3 の中央手摺笠木の仕様について、下記のように相違しています。 ・断面詳細図:木 t=30 OS ・部分総詳細図:FB-9×50 FB-9×50 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	1～2 階は RC 階段となり笠木は木、2～4 階は鉄骨階段となり笠木は FB となります。
154		A-21 A-37 A-39	階段 1・3 の天井仕上について、下記のように相違しています。 ・仕上表-5:ロックウール化粧吸音板 t9/石膏ボード t9.5(C2a) ・階段詳細図-1・3:ロックウール化粧吸音板 t9/不燃積層石	仕上表を正としてください。

			<p>石膏ボード t9.5(C10)</p> <p>ロックウール化粧吸音板 t9/石膏ボード t9.5(C2a)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	
155		A-38	<p>階段詳細図-2 階段 2 Y3・4 通りに構造スリット t20 のシーリングの仕様・寸法について、ウレタン系 W25×D15 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
156		A-48	<p>1F X7-8 通り玄関 1a 前の通路の仕上について、1F 廊下 b に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
157		A-48	<p>1F X9-10 通り玄関 1b 前の通路の仕上について、1F 廊下 b に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
158		A-20 A-104	<p>2F 廊下 2a・2b の天井仕上について、下記のように相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上表-4:化粧石膏ボード (C1a) ・1・2 階天井伏図:化粧石膏吸音ボード (C1b) <p>化粧石膏吸音ボード (C1b)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
159		A-30 A-115	<p>2FOS2b の天井フタ内壁仕上について、EP-G/コンクリート打放補修(壁凡例:W4a)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
160		A-117	<p>仕上詳細図-4 <C6・C7>天井詳細に EP の指示がありますが、EPG-W と読み替えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。

			か。御指示下さい。	
161		A-66	4F 更衣室 4d 前の部屋仕上・天井高さについて、詳細が不明です。4F 更衣室 4d に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上は C8、天井高さは 2700mm としてください。
162		A-21 A-35 A-104	1・2F ステージの天井仕上について、下記のように相違しています。 ・仕上表-5:ガラスウールボード t25/コンクリート打放補修(C5) ・矩計図-5:EP/コンクリート打放補修 ・1・2 階天井伏図:ガラスウールボード t25/コンクリート打放補修(C5) ガラスウールボード t25/コンクリート打放補修(C5)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
163		A-142	金属工事 階段滑り止め ステンレス製 フラットエンド (ビニル製) 共 幅 40 :13.3m について、2F ギャラリー 階段ノズアップを指すと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
164		A-55	2F ギャラリー室前通路の部屋仕上・天井高さについて、2F 廊下 b に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
165		A-21 A-167	1F 更衣室 1a・b の床下地について、下記のように相違しています。 ・仕上表-5:コンクリート金鰻 ・部分詳細図(体育館床組-1)::鋼製床 H300	よろしいです。

			鋼製床 H300 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
166		A-135	配膳室の壁ガード範囲について、仕上表より配膳室 1 のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
167		A-136	ステージ脇手摺について、鉄部に SOP 塗装を見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	お見込みのとおりです。
168		A-114	仕上詳細図-1 F6 OA 707 H100 について、構造用合板 t12 は不要と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
169		A-05	特記仕様書-4 14.金属工事 5m を超える場合の補強方法について、角型間仕切下地材とありますが、参考数量書に従い軽量鉄骨壁下地と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	スタッドの高さが 5m を超える場合は特記仕様書に則ってください。
170		A-05	特記仕様書-4 15.左官工事ロックール吹付範囲の指示がありますが、耐火被覆ロックール吹付の範囲と考えると宜しいでしょうか。 又、違う場合、左官工事ロックール吹付の範囲と納まり詳細を御指示下さい。	よろしいです。
171		A-06	特記仕様書-5 19.内装工事 タイルペットのサゲツ:NT-700H について、タイルペット t7.5(F5)を指していると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 また、特記仕様書や図面に記載のないものについては公共工事標準仕様書に準じた製品としており特にメーカー・品番は指定していません。(他同様)

			又、タイルカーペット t6.5(F6)、階段タイルカーペット t6.0 のメーカー・品番を御指示下さい。	
172		A-07	特記仕様書-6 19.内装工事 断熱材吹付硬質ウレタンフォームについて、「ウレタンフォーム類は室内または排煙チャンバーとしている天井内に露出して使用する場合は防火コートを施す」とありますが、今回は該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
173		A-07	特記仕様書-6 20.エント及びその他工事 体育館鋼製二重床 H=300 のメーカー・品番に染野製作所:ジムエースとありますが、ステージ 鋼製床・ステージ 階段鋼製床についても同様のメーカー・品番と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
174		A-06 A-17	防滑性ビニル床シート t2.0(F3)のメーカー・品番について、下記のように相違しています。 ・特記仕様書-5:東リ(消臭トル NW)程度 ・仕上表-1:ロンシル工業(サニタリム)同等品 東リ(消臭トル NW)程度を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	どちらの材料も同等品と認識しております。仕上については施工前に決定しますので参考とお考えください。
175		-	上記質疑に倣い、仕上表-1 防滑性ビニル床シート t2.0(F3)はビニル床シート FS 耐薬性(F2a)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	F3 はトイレ、F2a は理科室に採用する床仕上げとなりますので、読み替えは行いません。
176		A-17 A-18	1F 理科室の床仕上について、下記のように相違しています。	よろしいです。

			<ul style="list-style-type: none"> ・仕上表-1: 防滑性ビニル床シート(F3) ・仕上表-2:ビニル床シート FS 耐薬性(F2a) <p>ビニル床シート FS 耐薬性(F2a)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	
177		A-17	<p>仕上表-1 下記の項目について、範囲が不明のため該当無しと考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐侯・防滑性ビニル床シート t=2.5 (田島ルーフィング:ビニルシート PLUS) ・薄膜型ウレタン樹脂系防塵塗床 (ABC 商会:カテートップ U(コーティング 工法)) ・薄膜型水性アクリルウレタン樹脂系防塵塗床 (ABC 商会:カテートップ AU 水性カテ- (コーティング 工法)) ・厚膜型エポキシ樹脂系塗床 (ABC 商会:タクリート E(ペ-スト防滑工法)) ・厚膜型水性硬質ウレタン樹脂系塗床(耐熱性 100℃) (ABC 商会:タフリート MH(MH 工法)) <p>又、必要な場合、該当範囲を御指示下さい。</p>	よろしいです。
178		A-114	<p>仕上詳細図-1 フローリングの加圧樹脂含浸寸法安定強化について、F1 は誤記と考え、該当範囲は F1a のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	F1、F1a 共に加圧樹脂含浸寸法安定化高強度処理品としています。
179		A-117	<p>仕上詳細図-4 凡例 C2b について、該当範囲が不明のため今回は該当無しと考えて宜しいでしょうか。</p>	よろしいです。

			又、必要な場合、該当範囲を御指示下さい。	
180		A-67	壁断熱について、4F X10/Y7-5 通りの倉庫 G3・WC4e 外壁 RC 面は断熱材不要と考えて宜しいでしょうか。 又、必要な場合、範囲図にて断熱材の範囲を御指示下さい。	よろしいです。
181		A-49 A-55	体育館の壁断熱材について、外壁 RC 面は断熱材不要と考えて宜しいでしょうか。 又、必要な場合、範囲図にて断熱材の範囲を御指示下さい。	次のとおり見込んでください。 アリーナ 1 階 W7 (吸音材兼断熱) ステージ 1 階 Y4・Y8/X18~20、X20/Y4~8 ギャラリー Y8/X10~17
182	P.57	-	参考数量書の校舎建築工事 木工事の「壁木胴縁組 不燃木 40×27」について、該当範囲を御指示下さい。	ホール (X5・Y3-4) 壁仕上、ホール上部の吹抜けに面した腰壁です。
183	P.57	-	参考数量書の校舎建築工事 木工事の「壁スタンドボード 桧 厚 4.0」について、該当範囲を御指示下さい。	次のとおり見込んでください。 教室 2~4 のパーティション面 (A-128 図)
184	P.57	-	参考数量書の校舎建築工事 木工事の「木間仕切組 90×90」について、該当範囲を御指示下さい。	ホール上部の吹抜けに面した腰壁です。
185	P.57	-	参考数量書の校舎建築工事 木工事の「不燃羽目板 張り W=105 厚 12」について、該当範囲を御指示下さい。	ホール (X5・Y3-4) 壁仕上、ホール上部の吹抜けに面した腰壁です。

186	P.87	-	参考数量書の校舎建築工事 塗装工事の「SOP塗り 鉄骨面 工程B種 塗料1種 錆止工程A 塗料A」について、該当範囲を御指示下さい。	階段1, 3のササラ桁・段裏です。
187	P.87	-	参考数量書の校舎建築工事 塗装工事の「SOP塗り(糸幅300mm以下) 鉄鋼面 工程B種 錆止現場1回共」について、該当範囲を御指示下さい。	一方枠、三方枠各所です。
188	P.87	-	参考数量書の校舎建築工事 塗装工事の「WP塗り 木部 素地A種」について、該当範囲を御指示下さい。	次のとおり見込んでください。 壁仕上WF3・W3a~c、 カーテン・ブラインドボックス面、各階OS下がり壁見切
189	P.87	-	参考数量書の校舎建築工事 塗装工事の「WP塗り(糸幅300mm以下) 木部 素地A種」について、該当範囲を御指示下さい。	次のとおり見込んでください。 木巾木B2、天井仕上C6・12・13、コーナーガードCG2・3・4、各階SS開口枠、WC1c・d目隠し
190	P.89	-	参考数量書の校舎建築工事 内外装工事の「床ビニル床シート(F2) FS 厚2.0 多湿部 熱溶接工法」について、該当範囲を御指示下さい。	更衣室1c・dシャワーブース前の床です。
191	P.90	-	参考数量書の校舎建築工事 内外装工事の「壁耐火面継目処理」について、耐火間仕切の塗装仕上面を計上していると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
192	P.70	-	参考数量書の校舎建築工事 左官工事の「床コンクリート直均し仕上 金ごて 直均し仕上」について、エッジシャワー面を計上していると考えて宜しいでしょうか。御	更衣室1c・dシャワーブース前の床です。

			指示下さい。	
193	P.147	-	参考数量書の体育館建築工事 塗装工事の「WP塗り(糸幅 300 mm以下) 木部 素地 A 種」について、該当範囲を御指示下さい。	次のとおり見込んでください。 木巾木 B2、コーナーガード CG2、手摺-G1、ギャラリー一壁付け手摺
194		-	下記の項目のメーカー・品番を御指示下さい。 ① 床磁器質タイル t9.5(F7) ② 巾木磁器質タイル(B3) ③ タイルカーペット t6.5(F6) ④ 階段タイルカーペット t6.0 ⑤ 繊維混入ケイカル板(有孔)t8.0(W6) ⑥ OSBボード張り t9.0(W9) ⑦ 掲示クロス張り (W10) ⑧ 耐火間仕切 ⑨ 耐火遮音間仕切 ⑩ 天井グラスウールボード (C5)	特記仕様書をご確認ください。また特記仕様書や図面に記載のないものについては公共工事標準仕様書に準じた製品としており特にメーカー・品番は指定していません。(他同様)
195		A-32	矩計図-2 配管ピットのガス抜きパイプについて、設備工事と考えて宜しいでしょうか。 又、建築工事の場合、ガス抜きパイプの設置箇所は人通り 1 箇所に対して 1 箇所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	配管ピットのガス抜きパイプは建築工事です。 設置箇所についてもお見込みのとおりです。
196		A-17	仕上表-1 仕上グレードリスト 物干しユニットについて、該当範囲が不明です。該当範囲・箇所数を御指示下さい	3階、家庭科室にあります。 合わせて A-143 の D-14 を確認ください。

			い。	
197		A-17	仕上表-1 仕上グレードリスト 幕掛フックについて、該当範囲が不明です。該当範囲・箇所数を御指示下さい。	不要としてください。
198		A-07	特記仕様書-6 20.エント及びその他の工事 33.表示標識 多目的トイレ入口の展示表示の寸法について、 W300×H300 と考えて宜しいでしょうか。 又、仕様等納まり詳細を御指示下さい。	300 角でよろしいです。 仕様、納まりは A-192 の F-1 のピクトサインと同様としてください。
199		-	ライング 甲板等取合水廻りシーリングの仕様・寸法について、SR-2 10×10 防カビ仕様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
200		A-10 A-138	部分詳細図(トイレまわり) 化粧鏡(TOTO YMK51K 同程度)について、工事区分表では機械工事となっておりますが、建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
201		A-19 A-138	部分詳細図(トイレまわり) 可動手摺(跳ね上げ式)について、トイレパック(機械設備工事)部に含まれると考え、設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	機械設備工事です。
202		A-19	仕上表-3 1FWC1a の化粧鏡について、トイレパックに含まれると考え、設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	化粧鏡は建築工事です。

203		A-45	<p>1～4FWC の小便器汚垂部の仕上について、ビニル床シートと考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、メーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>W=600 消臭 多湿部 熱溶接工法 仕様として下さい。</p>
204		A-21	<p>仕上表-5 備考 4FWC4e・4fの姿見について、平面詳細図に姿見の図示がありませんが、化粧鏡と読み替えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、姿見の場合、寸法・厚み・枠の有無とメーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>化粧鏡として下さい。</p>
205		A-45 A-74	<p>展開図-2(1階-2) 1F 校務センター・昇降口のAW25部(X8通り)のカンターについて、マシン化粧合板 t20 と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>又、メーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p> <p>特にメーカー・品番の指定はありません。</p>
206		A-45	<p>1F 昇降口・校務センター・玄関 1a の段差ステンレス見切の部材について、FB-6 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
207		A-44	<p>1F 保健室・更衣室の天井カーテンレールについて、仕様・寸法とメーカー・品番を御指示下さい。</p>	<p>図面の範囲をお見込みください。</p>
208		A-142	<p>部分詳細図(雑-1) ホールステージの框・腰元集成材の表面仕上について、WP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>

209		A-168	部分詳細図(体育館床組-2) ステージ廻り鋼製床断面詳細図 珩集成材ステージ 框の表面仕上について、WP 塗装と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
210		A-35 A-167	ステージ廻り鋼製床部のステージ 框の部材寸法について、下記の様に相違しています。 ・矩計図-5:W120×H100 ・部分詳細図(体育館床組-2):W120×H150 W120×H150 を正と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	部分詳細図を正としてください。
211		A-35	矩計図-5 ステージ 上部のブドウ棚の珩集成材框の厚み・表面仕上について、t25 WP 塗装仕上と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
212		A-131	部分詳細図(スライディングウォール-1) 方立の仕様・表面仕上と寸法について、下記の様に考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕様、表面仕上:スチール t1.6 SOP ・寸法:300×100	よろしいです。
213		A-122	建具詳細図-1(建具・カーテンボックス・カーテンリスト) アルミ製建具の木製膳板・額縁の樹種について、珩集成材と考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
214		A-110	建具表-3 AD の木製膳板・額縁の寸法と樹種について、下記の様に考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

			<ul style="list-style-type: none"> ・寸法:200×25 ・樹種:珞集成材 	
215		A-35	<p>矩計図-5 ステージの額縁珞集成材の表面仕上について、WP 塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
216		A-36	<p>矩計図-6 ギャラリー上部 AW 部木製カーテンボックスについて、珞集成材の厚みは t25 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
217		A-109 A-125	<p>部分詳細図(光庭出入口) 額縁の仕様について、スチール t1.6 とありますが、建具表では木製 OS とあり相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。スチール t1.6 の場合、表面仕上と該当する建具範囲を御指示下さい。</p> <p>又、部分詳細図にブラインドボックスの様な図示がありますが、天井伏図にカーテン・ブラインドボックスの図示が無いため、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>額縁は木製を正としてください。</p> <p>天井伏図のとおり見込んでください。</p>
218		A-122	<p>建具詳細図-1 カーテン・ブラインドボックス ブラインドボックスの設置部屋について、保健室・校務センター・校長室・教育相談室・主事室とありますが、カーテン・ブラインドリストではブラインド設置は理科室 1・2 と準備室 1a となっております。カーテン・ブラインドリストを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	カーテン・ブラインドリストを正としてください。

219		A-104 A-122	建具詳細図-1 カーテン・ブラインドボックス 1F 理科室 1・2 と準備室 1a について、カーテン+暗幕とロールブラインドの記載がありますが、それぞれの設置範囲の図示とカーテンボックスとブラインドボックスの納まり詳細を御指示下さい。	W4670：外部アルミ製建具 その他、室内の内部建具が該当します。建具表とカーテンブラインドリストを合わせて確認ください。
220		A-122	建具詳細図-1 カーテン・ブラインドリスト CU-403・404(2～4階 SS2a～4d)のカーテンについて、設置箇所が不明です。設置範囲の図示を御指示下さい。	Y2 通り、OS と SS 間にあるカーテンボックスが該当します。A-32 参照ください。
221		A-48 A-153	1F 準備室 b の窓下戸棚+流し台(F-23)の W 寸法について、下記のように相違しています。 ・1 階平面詳細図-5:W2400 ・部分詳細図(家具-7):W2880 W2400 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正としてください。
222		A-59 A-155	3F 準備室 3a の窓下戸棚(F-32b)の W 寸法について、下記のように相違しています。 ・3 階平面詳細図-4:W2600 ・部分詳細図(家具-9):W3300 W2600 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図を正としてください。
223		A-60 A-157	3F 家庭科準備室(準備 3b)の窓下戸棚+流し台(F-40)の W 寸法について、下記のように相違しています。	平面詳細図を正としてください。

			<ul style="list-style-type: none"> ・3階平面詳細図-5:W2600 ・部分詳細図(家具-11):W3310 <p>W2600 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	
224		A-54 A-161	<p>2F 情報センターの高書架(片面)(F-68a)の箇所数について、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階平面詳細図-5:5箇所 ・部分詳細図(家具-15):6箇所 <p>6箇所を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-161 を正としてください。
225		A-45 A-164	<p>1F ホール階段の展示棚(F-78a)の W 寸法について、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階平面詳細図-2:W4600 ・部分詳細図(家具-18):W5005 <p>W4600 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-161 を正としてください。
226		A-51 A-164	<p>2F ホール階段の展示棚(F-79b)の W 寸法について、下記の様に相違しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階平面詳細図-2:W9586 ・部分詳細図(家具-18):W3538 <p>W9586 を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	A-164 を正としてください。
227		A-166	部分詳細図(黒板・掲示板) B-7.アルミ枠 [®] ゾグ [®] エース掲示	A-166 のリストどおりとしてください。

			<p>板について、下記掲示板が平面詳細図に図示がありません。リスト通りに見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3、4F 教室 3a、4a:W1400×H1200 2 箇所(正面) ・3、4F 教室 3b～3h、4b～4h: W1200×H1200 14 箇所(正面)、 W1400×H1200 14 箇所(正面) 	平面詳細図の凡例 B-7i が該当します。
228		G-18	<p>屋外体育倉庫・便所詳細図 多目的便所のトイレパックについて、設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
229		G-18	<p>屋外体育倉庫・便所詳細図 男子・女子便所のライニング甲板について、校舎棟のライニング甲板と同様、アサ工業ポストフォーム NPA t20 と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
230		A-189	<p>1 階サインプラン H-3 衝突防止サインの数量について、サインリストでは 1 階が 8.9m となっておりますが、配置図では計 31.5m(5.3m、19m、3.6m、3.6m)となっております。1 階の衝突防止サインは 31.5m と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	参考数量表の数量を正としてください。
231		A-189	<p>2 階サインプラン S-1 室名サイン(平付)の箇所数について、サインリストでは 2 階は 3 箇所となっておりますが、配置図では 2 箇所しかありません。3 箇所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	参考数量表の数量を正としてください。

232	P.87	-	参考数量書 校舎建築工事 塗装 SOP 塗り 鉄鋼面 (205m ²)について、明確な範囲を御指示下さい。	図面・特記仕様からから判断できる範囲をお見込みください。
233	P.172	-	参考数量書 プール建築工事 木工事 三方枠について、該当範囲が不明です。該当無しと考えて宜しいでしょうか。 又、違う場合、範囲を御指示下さい。	プール工事は、更衣室 4d, 4e、WC4e, 4f も含みます。
234	P.151	-	参考数量書 体育館建築工事 エット工事 WC1i・1h の手洗い(カウンターボール一体型・手摺共)について、平面詳細図にはカウンターの図示がありません。該当範囲無しと考え、手洗いは設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	参考数量通りに見込んでください。
235		-	紙巻器等衛生器具取付下地について、下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ① 紙巻器:スチール t1.6 W300×H300 ② 化粧鏡:スチール t1.6 鏡寸法 ③ L型手摺:スチール t1.6 W700×H700 又、その他の衛生器具で必要な取付下地がありましたら、詳細を御指示下さい。	乾式壁に取りつく箇所は適宜見込んでください。
236		-	下記の項目について、メーカー・品番を御指示下さい。 ① マンホールφ 600 ② 床点検口 600 角	特記仕様書をご確認ください。また特記仕様書や図面に記載のないものについては公共工事標準仕様書に準じた製品としており特にメーカー・品番は指定していません

			<ul style="list-style-type: none"> ③ 床点検口 600 角(1Fアリーナ) ④ 床換気口 200×1000 2 連(1Fアリーナ) ⑤ 天井点検口 450 角 ⑥ ヒ°クチャーレール ⑦ カーテンレール(シングル) ⑧ カーテンレール(ダブル) ⑨ アイオンカーテン ⑩ カーテン ドレープ° ⑪ カーテン レース ⑫ カーテン ケースメント ⑬ 視覚障害者用誘導床材 塩化ビニル製シート ⑭ ホリゾント幕(舞台幕) 	ん。(他同様)
237		A-108 ~113	各建具がガラス面に、飛散防止フィルムの記載があります。3M:SH2CLAR 程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。同等以上としてください。
238		A-109	AW-27 の不明点を御指示下さい。 ① 有孔シベニア部分の寸法は H1850 程度と考えて宜しいでしょうか。 ② 有孔ベニアの厚み等に指定があれば御指示下さい。	①よろしいです。 ②t9mmとしてください。
239		A-109 A-126	ACW-1 のガラス仕様が相違しています。 ・建具表: S TL4+A12+ST4 ・建具詳細図: FL6+A6+FL6	建具表を正としてください。

			建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	
240		A-110 A-125	AD-2 のガラス仕様が相違しています。 ・建具表: S TL4+A12+ST4 ・建具詳細図: FL6+A6+FL6 建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正としてください。
241		A-106・ 107・ 111	LSD-6 の数量が相違しています。 ・建具表 4 箇所 ・キープラン 6 箇所 キープランを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	キープランを正としてください。 質問回答番号 243 と合わせ、6 箇所です。
242		A-111	LSD-14 建具表備考欄において、飛散防止フィルム・ガ リの指示があります。 姿図においてガラス及びガリの指示がない為、適用 外と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	不要としてください。
243		A-106・ 107・ 111	LSD-15 の数量が相違しています。 ・建具表 2 箇所 ・キープラン 0 箇所 キープランを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	キープランを正とし、LSD-6 に読み替えてください。
244		A-106・	SD-d の数量について、建具表に 3 箇所指示があ	建具表を正としてください。

		107・ 112	りますが、キープランに指示がありません。 建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	屋上のハト小屋です。
245		A-106・ 107・ 112	SW-12 の数量が相違しています。 ・建具表 2 箇所 ・キープラン 0 箇所 建具表通り必要と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	2 階 OS2a 及び 3 階 OS3a 付近に設置する建具は、建具表の SW-12 が正となります。数量は建具表のとおり 2 か所です。
246		A-106・ 107・ 112	SW-13 の数量が相違しています。 ・建具表 1 箇所 ・キープラン 2 箇所 キープランを正と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	2 階 OS2a 及び 3 階 OS3a 付近に設置する建具は、建具表の SW-12 が正となります。数量は建具表のとおり 2 か所です。 4 階 OS4a 付近に設置する建具は、建具表の SW-13 が正となります。数量は建具表のとおり 1 か所です。
247		A-106・ 107・ 112	4 階 OS4a 付近に SW-14 のキープランがありますが、SW-14 の建具表がありません。SW-13 と読み替え、SW-13 の数量は上記質疑と合わせ計 3 か所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	4 階 OS4a 付近に設置する建具は、建具表の SW-13 が正となります。数量は建具表のとおり 1 か所です。
248		A-113	FSD-14 の塗装仕上が相違しています。 ・仕上欄:焼付塗装 ・備考欄:SOP 塗装 仕上欄を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上欄を正としてください。

249		A-113	SS-1、SS-2の塗装仕上が相違しています。 ・仕上欄:焼付塗装 ・備考欄:SOP 塗装 仕上欄を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上欄を正としてください。
250		A-131	SLW-5、SLW-6に額ガラスの図示があります。学校用強化4mm程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
251		G-01	東側門扉・スロープ部分の舗装が不明です。CoHコンクリート舗装(歩道)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
252		G-04	北側ゲートの左側取合部に擁壁-1の指示がありません。縁石-1に読み替えて宜しいでしょうか。御指示ください。	擁壁-1のままとしてください。
253		A-08 G-04	北門の視覚障害者用誘導床材は、磁器タイル300×300で、コーナー部には注意喚起用を3か所見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	視覚障害者用誘導床材の設置箇所等についてはお見込みのとおりです。 また、その材質は舗装同材であるインターロッキングとしてください。
254		G-04 ~06 11	グラントゲート脇植栽内の柵は雨水柵(歩道)と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	G-11 雨水柵(歩道)としてください。
255		G-04 ~06	外構図のVP指示は全てVP管φ200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

		11		
256		G-09	駐輪場基礎の鉄筋を上下 D-10@200 ｸﾞﾗﾝﾄﾞで考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
257		G-11	スチールメッシュフェンスで基礎が 180×180×H450 の場合はブロック基礎で、250×250×H450 の場合は現場打ち基礎とし、無筋で考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
258		G-09	門扉基礎の配筋を上下 D-10@200 ｸﾞﾗﾝﾄﾞで考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
259		G-08	擁壁の化粧目地@600 にポリウレタン系シーリング 20×15 を見込んで宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
260		G-10	大型門扉基礎の鉄筋は D13@200 ｸﾞﾗﾝﾄﾞ シングルで考えて宜しいでしょうか。また下部コンクリート t=100 は無筋で強度は Fc18N/mm ² スランプ 15cm で考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 下部コンクリートは CoH と同等としてください。
261		G-03	植栽基盤整備以外の緑地は客土 H=200 で考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-08 特記仕様に準じてください。
262		G-02	参考数量書の構内舗装にある地盤改良 71m ³ の施工範囲を御指示下さい。	コンクリート舗装部分が該当します。
263		G-191	自立ﾀｲﾌﾟ基礎の鉄筋を上下 D-13 ｸﾞﾗﾝﾄﾞ@200 で考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
264		G-04	北側駐車場門の脇にプール水取水口の表示がありません。基礎等必要でしたら詳細を御指示ください。	機械設備工事です。

265		G-04・05	消火栓、補助散水栓等表示基礎・消防水利標識基礎を下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 400×400×H500 砕石 t 100 無筋	自立サインと同様に、上下 D-13 径@200 としてください。
266		G-06・07・11	グラント排水を道路側溝へ放流とありますが、放流管は VP 管 φ200 で考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 道路敷設と本工事が並行するため、今後協議が発生することを考慮ください。
267		G-11・12	グラント排水終点部の柵 1 か所を PC 雨水柵 300×300×H600（歩道）で見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	道路への放流部については、他の柵と同様に勾配に応じて、PC 柵を見込んでください。
268		A-12	現況 GL が A-12 図で T.P.1.65、参考図-2 で T.P.1.70 と相違しております。T.P.1.70 が正と考え、外構の根切り開始バルと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	現況地盤は T.P.1.65 としてください。
269			参考内訳書の植栽工事における、「植栽基盤整備」の A種 有効土層 H50cm 212m ² と A種 有効土層 H60cm 80.4m ² との適応範囲をご提示願います。	以下のとおりです。図面、特記仕様を確認ください。 高木 01、02、10、11、12、13、14、15、16 : H60cm 中低木 03、04、05、06、17、18 : H50cm
270	57		不燃羽目板張り W=105 厚 12 45.7 m ² ですが、材種は杉でよろしいですか。	よろしいです。
271	57		壁合板張り ラワン 1 類 見え隠れ 厚さ 12.0 mm 108 m ² ですが、貼る部位が不明です。ご教示願います。	ライニング下地合板が該当します。
272		A117	ガラス繊維・パルプ混抄シート t=0.7 野原産業カ	特にメーカー・品番の指定はありません。

			ールトンですが、販売終了との情報がありました。代替品のメーカー、品番等をご指示願います。	
273		A07	吹付硬質ウレタンフォームの種別ですが、図面記載のA種1は、施工時期に製造出荷されていない可能性があります。A種1Hでも可と考えてよろしいですか。	よろしいです。
274		参 1.2	仮設計画ですが、図面記載の計画は参考と考え、指定仮設は無いものとしてよろしいですか。また、指定仮設・指定数量等がありましたら、ご教示願います。	参考図として確認ください。 本工事に必要な仮設計画に基づき積算ください。
275		A02	内訳書（仕様書）と設計図面ですが、優先順位は設計図面が上位と考えてよろしいですか。	設計図を優先することを基本としてください。 「D2(1/5).八潮市新設小学校準備室 060529 八潮市立新設小学校建設工事（建築工事・外構工事）」は参考内訳書となります。
276	298		参考内訳書の植栽工事における、「植栽基盤整備」のA種 有効土層 H50cm 212m ² とA種 有効土層 H60cm 80.4m ² との適応範囲をご提示願います。	質問回答番号 269 を参照ください。

- ※ 質問数が5より多い場合は、適宜、枠を増やして下さい。
- ※ 質問する場合は、必ずこの様式を使用して下さい。
- ※ 電子入札システム内の質問事項欄に直接質問を打ち込まないで下さい。
- ※ この様式を添付資料として電子入札システム内から提出して下さい。
また、質問書を添付する際は、PDF等に変換しないで下さい。

※ この様式の表題(ファイル名)及び質問内容には、特定の企業名や個人名を記入しないで下さい。